

平成25年度極域科学専攻在学生アンケート集計結果

1. 趣旨

当専攻の教育課程等に関するアンケートを行い、学生の意見を聴取することで、当専攻の教育課程、教育研究環境等の改善に資することを目的とする。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordファイルで配付）し、電子データで回収。

3. 回収率等

- (1) 対象在学生数 14人
- (2) 回答数 6人
- (3) 回答率 43%

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通（自由記述部分を除く）で次のとおり。

「4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない」

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

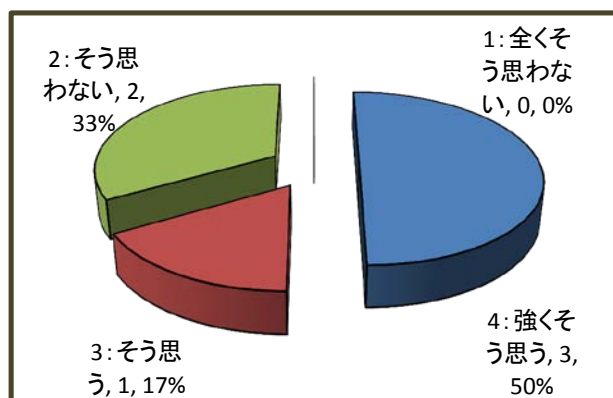
コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

※1件、5段階評価で回答したものがあつたが、5→4、4→3、3→回答なし、2→2、1→1と集計した。

(1) 研究指導について

1) 研究指導を複数の指導教員で行う複数指導体制は機能していると思うか。

4：3件 3：1件 2：2件 1：0件 【平均3.17】

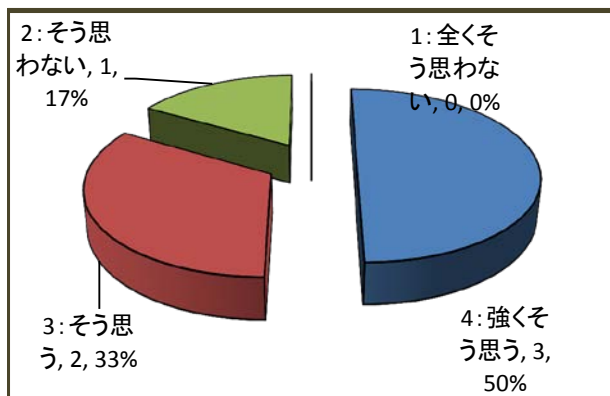


(コメント)

2（そう思わない）の回答が回答の3分の1を占め、複数指導体制が機能していないと評価する学生が複数いることがわかった。主任指導教員と指導教員との連携を見直す必要があると考えられる。

2) 指導教員は研究指導に十分な時間を割いていると思うか。

4 : 3件 3 : 2件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.33】

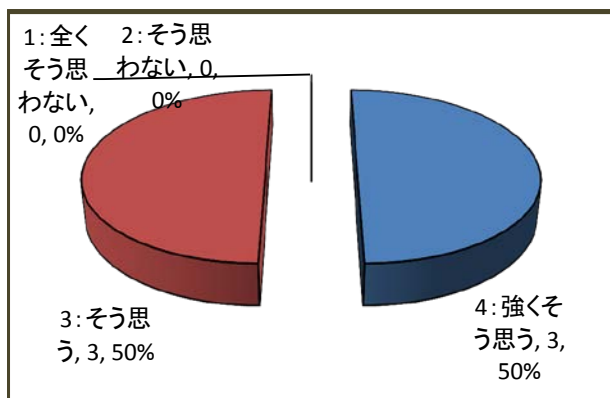


(コメント)

4と3をあわせて、83%であり、おおよそ十分な時間を割いて研究指導を行っていると思われている。しかし、2（そう思わない）の回答が一件あったため、一部の学生は研究指導に満足していない現状がわかった。

3) 指導教員は学生の研究計画策定に関し適切な助言を行い、研究計画の実施に際しては適切に指導を行っていると思うか。

4 : 3件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.50】

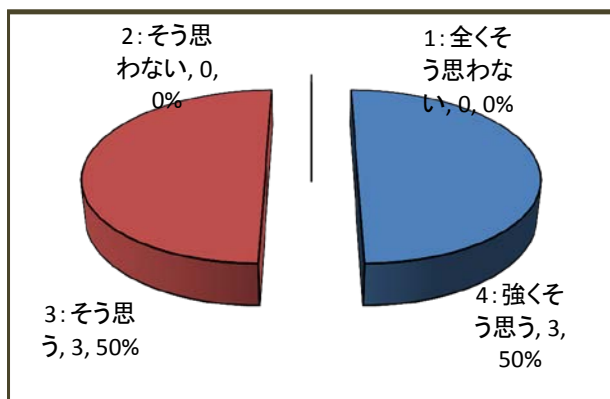


(コメント)

4と3をあわせて、6件100%であり、ほぼ適切な助言及指導を行っていると言える。

4) 総合的に考えて研究指導に満足していると言えるか。

4 : 3件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.50】



(コメント)

4と3をあわせて、6件100%を数え、ほぼ研究指導に満足していると言える。

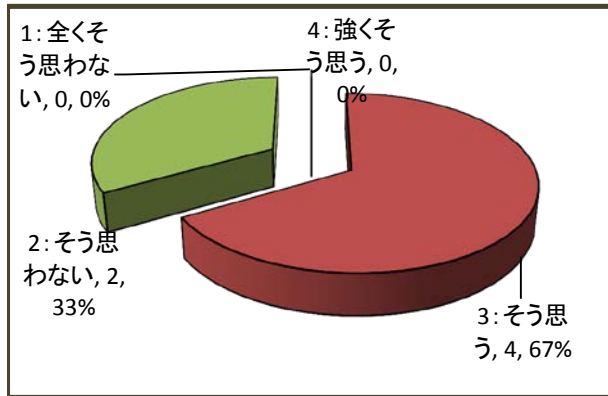
4-1) 言えない場合は、どのような点が満足と言えないのか、又どのような対応をすべきか記載して下さい。(自由記述)

- ・グループごとに定期的にゼミを行うなど、話し合いの時間を持つべき

(2)教育課程(カリキュラム)について

1) 専攻で開講している専門科目は当該分野での学位取得に向けて必要な科目を網羅していると思うか。

4 : 0件 3 : 4件 2 : 2件 1 : 0件 【平均2.67】



(コメント)

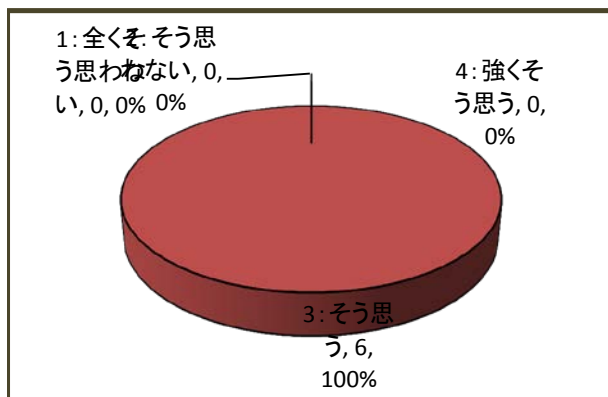
2 (そう思わない) の回答が3分の1を占めており、4の回答がなかったことを考えても、学位取得に必要な科目を十分網羅しきれていないと考えている学生がいることがわかった。

1-1) 思わない場合は、どのような授業科目が必要だと考えるか記載して下さい。(自由記述)

- ・指導教官を中心に、演習・研究以外の各々の研究内容に合わせた単位付きの授業が欲しい。
- ・総研大は全体的に他分野から入ってくる学生が多いので、基本的な内容が学べる講義もあってよいと思う。

2) 研究科で開講している研究科共通基礎科目は、研究科の共通基礎科目として適切な内容だと思うか。

4 : 0件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.00】



(コメント)

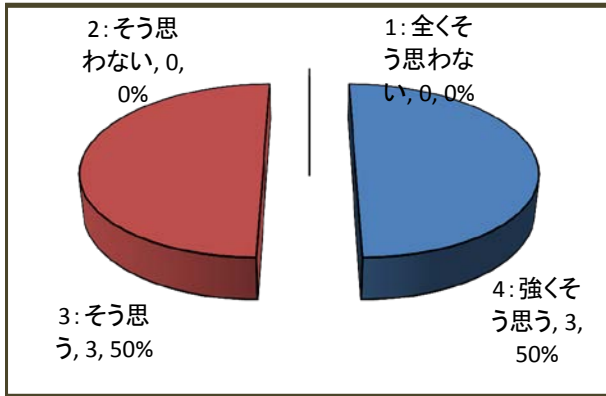
3の回答が6件で100%であり、ほぼ適切と考えているといえる。

2-1) 思わない場合は、その理由を記載して下さい。また研究科共通基礎科目として開講すべきと考えられる授業があれば記載して下さい。(自由記述)

(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援等)について

1) 学生の居室のスペースは十分と思うか。

4 : 3件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.50】

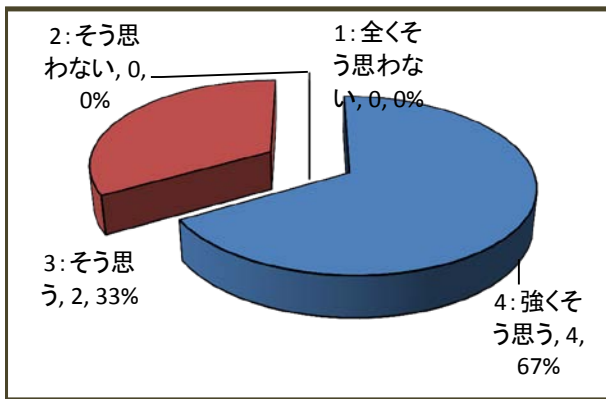


(コメント)

4と3あわせて、6件100%であり、十分な居室スペースが確保されていると言える。

2) 学生が研究活動を実施する上で必要な機器等の設備は十分と思うか。

4 : 4件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.67】



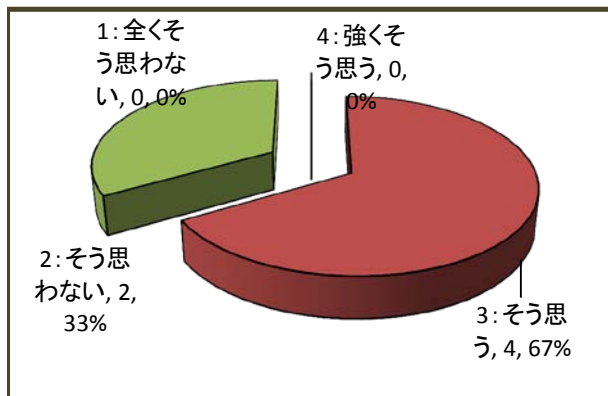
(コメント)

4と3あわせて、6件100%であり、ほぼ十分な研究設備が整っていると言える。

2-1) 十分でない場合、どのような機器が必要か。(自由記述)

3) 図書室の蔵書は十分と思うか。

4 : 0件 3 : 4件 2 : 2件 1 : 0件 【平均2.67】



(コメント)

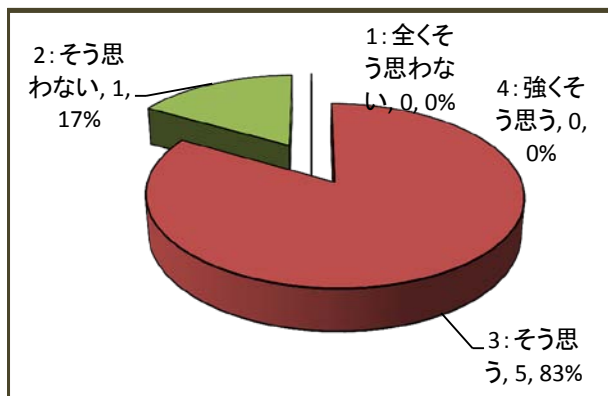
2のそう思わないが2件あったことから、一部の学生が図書室の蔵書に満足していない様子が見える。これについて、極地研情報図書室では、極域科学専攻生に対し、極地研にない資料を入手するための予算を一人5万円（または10冊）配備しているため、この情報が十分に行き届いていない可能性がある。

3-1) 十分でない場合、どのような蔵書が必要か。(自由記述)

- ・専門書、特に極域とは無関係の内容のもの
- ・極域科学の専門書以外の書籍を増やしていただきたいと思っています。例えば、信号処理や(最新の)プログラミング言語・ソフトウェアに関する書籍は、解析を進めていく上で多くの学生が必要になるものだと思います。

4) 利用できる電子ジャーナルの種類は十分と思うか。

4 : 0件 3 : 5件 2 : 1件 1 : 0件 【平均2.83】



(コメント)

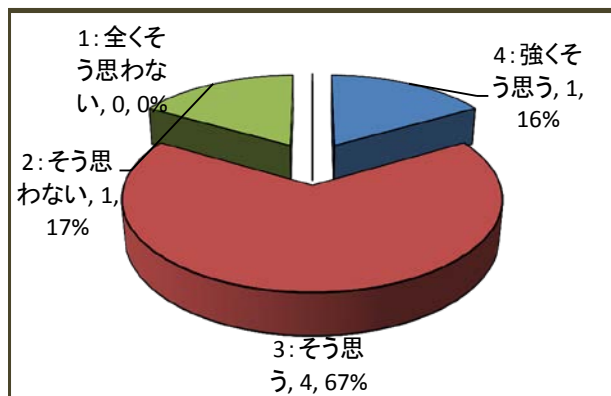
3の回答が83%を占め、学生は研究所で利用できる電子ジャーナルについておおむね満足していると考えられる。

4-1) 十分でない場合、どのような種類の電子ジャーナルが必要か。(自由記述)

- ・Biology letters, Royal Society B

5) 図書室その他の施設の利用はしやすいと思うか (利用時間、利用条件、利用手続き等の点から)

4 : 1件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.00】



(コメント)

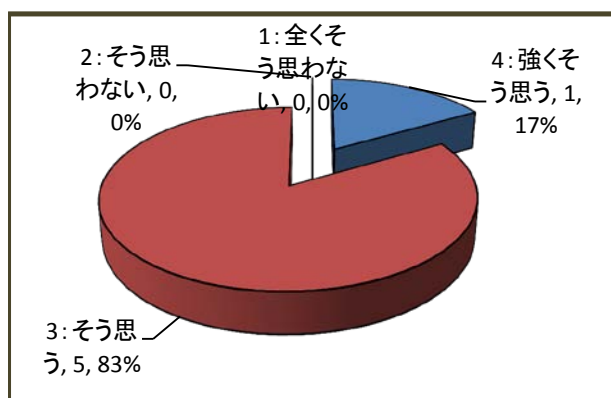
4と3あわせて、83%であり、利用しやすいと言える。2の回答については、以下自由記述にあるとおり利用に直接関係があるとは言えないが、この意見については情報図書室に伝える。

5-1) 利用がしづらい場合、どの施設がどのように利用しづらいか記載して下さい (自由記述)

・(図書室について) 科研費で購入した書籍について、(購入時にあるはずの) 書籍カバー等を購入依頼者への断りなしに破棄してしまう現状の管理手順に疑問を感じています。極地研から異動するまでは、実質的に購入依頼者が書籍の所持者になるケースが多いので、書籍をどのような状態で購入依頼者に届けるかについて、できる限り配慮をして頂きたいと思っています。

6) リサーチアシスタントは学生の研究能力向上に資するものとなっていると言えると思うか。

4 : 1件 3 : 5件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.17】



(コメント)

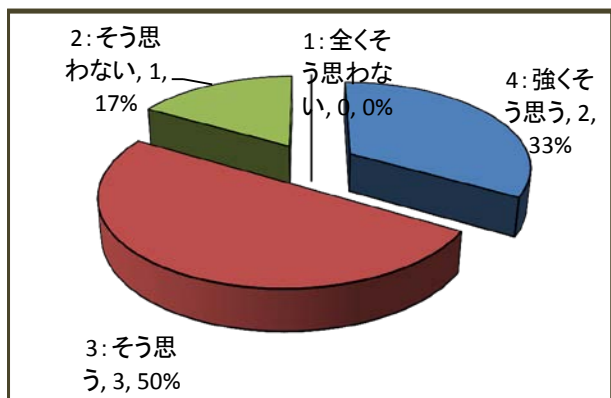
4と3あわせて、6件100%であり、RAが研究能力向上の観点から、おおよその学生にとって資するものになっていると言える。

6-1) 思わない場合、理由は何か。また、どのような対策が必要か。(自由記述)

・回答なし

7) 学生の研究活動支援対策（学生支援経費による交通費、宿泊費の支援、旅行時の傷害保険に専攻として一括加入等）は十分と思うか。

4 : 2件 3 : 3件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.17】



(コメント)

おおむね良好な結果であるが、2のそう思わないが1件あった。下のコメントを見ると、出張の際に日当が無いことに不満を持っているようであるが、現状では専攻の決まりなので対応は難しい。

7-1) 思わない場合は、どのような問題点があるか。また他にどのような支援が必要か。

・出張時の日当(主に食事代)を工面して頂けないかと思っています。学生が総研大の経費を使って長期的にフィールドワークに出る場合に、日当がないことが経済的にかなり負担になっていると思います。(食品購入に関する)レシートをエビデンスとして、食事代だけでも支援して頂けませんでしょうか？

(4) その他(その他意見、要望等を自由に記述して下さい。)

回答なし

5. 各項目におけるまとめ

(1) 研究指導について<項目(1)-1)~4)>

複数指導体制および研究指導時間について、十分ではないとの回答があり、また自由記述ではグループでの話し合いの時間が不足しているとの意見があったことから、一部の学生については、主任指導教員、指導教員、研究グループにおいてより積極的に学生の教育に力を注ぐ必要があると考えられる。

(2) 教育課程(カリキュラム)について<項目(2)-1)~2)>

極域科学専攻専門科目について比較的低い回答であった。基本的な内容が学べる講義については、専門科目であるため対応は難しいと思われる。

(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援)について<項目(3)-1)~7)>

図書室の蔵書が不十分であるとの意見について、情報図書室では、極域科学専攻生に対し、極地研にない資料を入手するための予算を一人5万円(または10冊)配備しているので、この情報をより周知する必要がある。

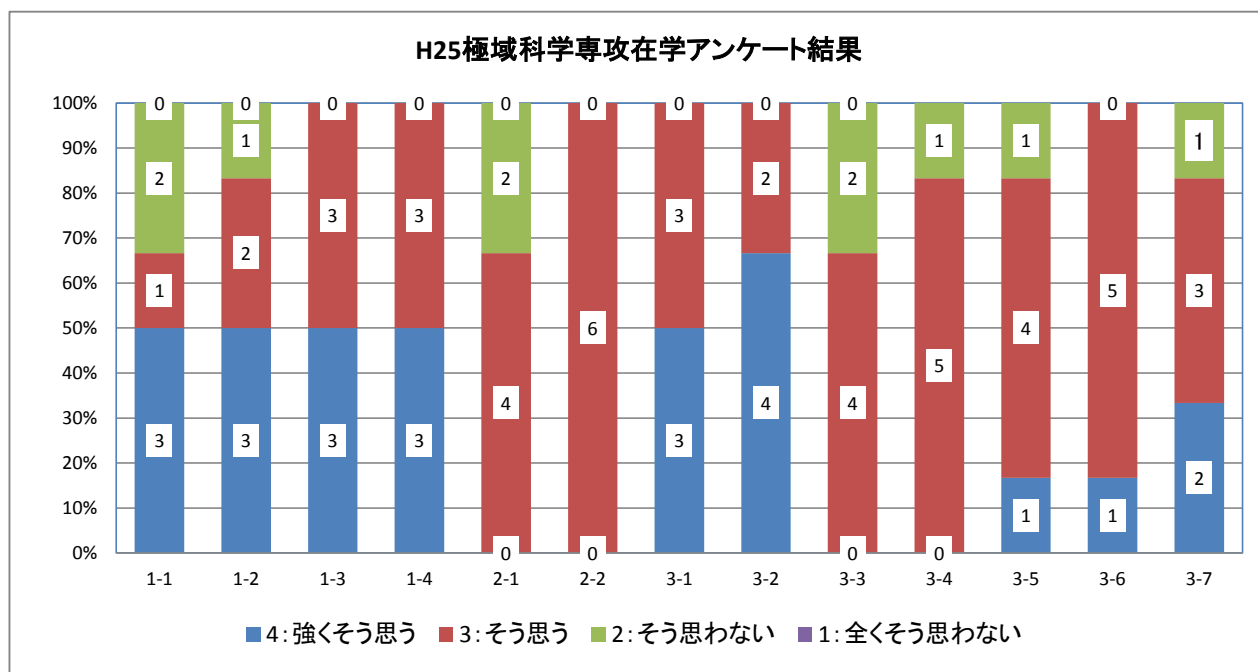
(現状は、新入生・在学生向けガイダンスで説明をしている。)

電子ジャーナルのリクエストと蔵書の管理方法への意見については、情報図書室へ伝える。

学生の日当については、現状は専攻の方針であるので支払えないが、意見を踏まえ、対応を考える。

(4) その他

回答はなかった。



6. 今後の対応

平成26年度についても同様のアンケートを実施し、評価及び年度ごとの比較を行う予定。

今回の調査結果については、専攻委員会へ報告し、極域科学専攻HPに掲載する。